岡崎市制 100 周年記念事業
岡崎まちものがたり

占部村役場･占部小学校趾碑

明治から昭和初期のころ、六ツ美南部地区の躍進はめざましいものがあった。中島と同様に占部も例外ではなかった。占部村は1889（明治22）年から1906（明治39）年まで存在した。1889年11月の市町村制の公布により占部村が発足し、平井要造（1840～1904）が初代村長となった。ちなみに当時の占部は、現在の上三ツ木、下三ツ木、中（中村）、国正、正名、定国、坂左右、下和田、野畑が含まれ、役場は中村にあった。村長の平井要造は全35年間の公職を勤め上げ、1904（明治37）年9月6日に66歳の生涯を終えた。

要造が活躍した時期と占部の学校の設立時期が重なっていることから、要造は占部の学校の設立と整備に尽力したことが推察される。占部学校は、1890（明治23）年の小学校令の改正により、1村1校設置義務となり、1892（明治25）年5月に占部村学校仮校舎修繕委員会が設置され、同年10月1日、占部村立占部尋常小学校ができた。参考までに当時の六ツ美には、青野、中島、占部、糟海の4つの尋常小学校があった。占部尋常小学校は、翌年、中村に移転され平井久左衛門の居宅を借りたという記録がある。占部尋常小学校は1895（明治28）年、現在の占部天神社の位置に新校舎ができ、開校式が開催された。このように、市町村制とともに小学校令の改正が行われ、占部尋常小学校が創設された。1906（明治39）年、第五尋常小学校と名を改めた。占部村は六ッ美村と合併し、1908（明治41）年中島の第四尋常小学校と統合し、のちの六ッ美南部小学校になった。

占部村役場･占部小学校趾碑は占部天神社の境内にある。建立の経緯などは不明である。

・占部村役場･占部小学校趾碑（正面）

占部村役場　占部小学校趾

・占部村役場･占部小学校趾碑（裏面）

■占部村
大字　野畑
下和田
坂左右
国正
中
定国
正名
上三ツ木
下三ツ木

（注）■の文字は判断できない

本項は以下の資料を参照・引用している

[六ッ美村誌]
編者：　六ッ美村是調査会
発行：　六ッ美村是調査会
発行日：1926（大正 15）年 12 月 1 日
発行所：日新堂書店
印刷所：活版印刷所

占部村役場･小学校趾碑 20160608

占部村役場･小学校趾碑 20160608